

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和四年 二月一日 発行

文責：大西
編集：白川

「琴弾公園ヒストリー」②①

《滝沢馬琴 その1》 琴弾山の山頂に「弓張月」の石碑があります。江戸時代に書かれた『椿説弓張月』（ちんせつゆみはりづき）には琴弾八幡宮が舞台となる話が書かれており、



『椿説弓張月』が大評判だったことから琴弾八幡宮への参拝者が激増して（聖地巡礼）その記念に石碑が建てられたと伝えられています。

あらずじ：「為朝が京の戦いに敗れ、妻である白縫（しらぬい）は召し使い八人と共に讃岐琴弾の宮に落ち夫の無事を祈っていた。主君（為朝）を売った武藤太は非難され西国に落ちた。そして室本に流れ着いたあと琴弾の宮を参拝した。白縫は男の祈る言葉から夫の仇（かたき）と知り（これぞ神のお導き）と見事仇討ちを果たすことができた。」

作者の滝沢馬琴は筆を執る際には曲亭馬琴と名乗り『椿説弓張月』と『南総里見八犬伝』は当時大ベストセラーになりました。（つづく）

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 2月7日です。
午前八時～九時（雨天：2月14日）

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080-3211-1962

「琴弾公園クイズ」③④

観音寺市のシンボルマークは以前は銭形砂絵の寛永通寶を簡単に円と四角で表現していました。四角は「質実剛健」を表わす象徴としましたが、円は次のうち何を表わす象徴？

①円熟

②円滑

③円満



『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページから輝き隊通信は閲覧できます。



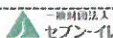
寛永永談

陰暦二月十五日は釈迦入滅の日（亡くなったとされる日）であり各寺院では涅槃会の法要が行われその多くは涅槃図を掲げます。そこには嘆き悲しむ弟子たちや動物たちの姿が描かれているのですが、ある時、蜘蛛学者の友人が「蜘蛛が描かれている涅槃図があるんだ」とうれしそうに語っていたのをきっかけに涅槃図の見方が変わり、不謹慎ながら動物や虫ばかり見るようになってしまいました。ゾウの姿ひとつにしても涅槃図によつては伏して悲しんでいるものもあれば巨体をひっくり返して泣いているものもあります。江戸時代には日本人は実物を見たことがなく想像で描いたらしい虎の姿は愛嬌があつたり、なんじゃこりやと、いうような謎の動物がいたり、釈迦を救う為に菓を取ろうとするネズミを邪魔した猫は涅槃図には登場しないはずなのに描かれていたり、どの涅槃図も個性と悲しみが溢れていて飽きることなく見てしまいます。(M)



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的にしている小さなボランティア団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。



※ 2021年度 一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団の助成を受けています。